

# 丸亀市で子育てをする パパ・ママへ

～丸亀市の子育てをサポートする専門家からのメッセージ～



丸亀市発達障害児支援協働事業

## はじめに：丸亀市発達障害児支援協働事業とともに

四国学院大学教授 学校心理士 S V

会 沢 勲

今から10年前、丸亀市に「地域は家族・コミュニケーション」という子育て支援を行うNPOがあります。そのNPOが「発達障害のことを勉強したい」と申し出て来られました。この頃つまり特別支援教育開始期に専門家ならともかく、NPOが発達障害に関心を持ってくれるとは驚きました。もちろん、嬉しい驚きです。数回の勉強会を熱心に担当しました。当時大学の講義に「発達障害」や「特別支援教育」がほとんど登場していませんでした。

だいぶ省略しますが、2009年4月、この勉強会から全国に先駆けて「丸亀市発達障害児支援協働事業」が誕生しました。役所とNPOと専門家（医療と心理学）と保護者・現場の協働です。役所が専門家を雇ってする支援ではなく、NPOと専門家と保護者・現場が加わった場（協働）がこの事業です。1年ごとにこの協働事業は改善・改革・拡大されて来ました。その現場を間近に見続けられたことは何と幸運なことでしょう。

丸亀市発達障害児支援協働事業は、関係各所から集ってもらい、年に5-6回推進協議会を開いています。関係各所には、役所（学校教育課含む）、教育と保育の現場、児童相談所、特別支援学校、等々に加えNPOと私たち相談員が参加して、今何が課題か、どうすればその課題が解決できるか、次年度どうすべきかを中心に議論しています。その結果、毎年少しずつですが、事業内容が改善していきます。事業にこの推進協議会を置いたことが「先駆け」だと自負しています。役所主導でない、新しいカタチです。

今年NPOが新たな提案をしてくれました。各相談員が短文を執筆し、それを保護者等に届けようということになりました。学会や研究会では、同じ分野の者が集まることはよくあることですが、専門家の少ない県でこれだけ有能な臨床家・相談員が集まる例を、他に知りません。私には誇らしい仲間でもあります。その相談員が熱心に執筆しています。どうぞ、お手元において、読んでください。そして、丸亀市の子育ての各窓口や支援を活用し、この事業も訪問してください。

# もくじ

- はじめに： 丸亀市発達障害児支援協働事業とともに
- 発達障害とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
四国学院大学教授 学校心理士 SV 会沢 勲
- 子育てにおける母親のメンタルヘルス・・・・・・・・・・ 4  
四国学院大学 教授 大木祐治
- 親のメンタルヘルスーポジティブシンキングのすすめ・・ 6  
臨床心理士 元児童相談所長 川田行雄
- ヤマアラシのジレンマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8  
臨床心理士 元家庭裁判所調査官 廣田邦義
- 見えない感情をキャッチする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9  
臨床心理士 樽本美穂
- 「伝えること」「繋がること」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
～子どもが通う学校・幼稚園・保育所・こども園との関係づくり～  
臨床心理士 熊谷由紀
- 子育てを通して過去と向き合うということ・・・・・・・・・・ 13  
臨床心理士 入江 輝
- 「親心」から学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15  
臨床心理士 田中 彩
- 発達障害の診断と告知・療育と薬について・・・・・・・・・・ 17  
松浦こどもメンタルクリニック院長 松浦秀雄
- 思春期の子育てと関わり方のポイントについて・・・・・・ 19  
観音寺第一高等学校 博士（医学）臨床心理士 学校心理士 SV 岡田倫代



## 丸亀市発達障害児支援協働事業

丸亀市役所幼保運営課分室

TEL0877-85-6613

FAX0877-85-6614

e-mail [info@chiikiwakazoku.com](mailto:info@chiikiwakazoku.com)

ホームページ <http://www.chiikiwakazoku.com>

NPO 地域は家族・コミュニケーション





2017年10月発行

発行・編集

丸亀市発達障害児支援協働事業